

# まくベコ

わたしたちのまち  
(昭和61年9月1日現在)

人口	21,570	(+11)
男	10,580	(+2)
女	10,990	(-13)
世帯数	6,649	(-1)
一人のうごき (8月中)	-	
転入	77人	転出 93人
出生	19人	死亡 14人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



## 8.31 つながったデーに8,067人が参加

初秋というのに真夏のような暑さだった8月31日。  
幕別町開基90年記念事業の交通安全キャンペーン「つながったデー」  
に参加したのは8,067人。

子供たちのメッセージを付けた風船が舞う大空のもと、つながった手のぬくもりを確かめ合う笑顔が広がりました。

# 61年 10

No. 417

# ●10年後の開基100年に向けて

# 一層の飛躍を誓い合う

## 幕別町開基90年記念式典

幕別町開基九十年記念式典が開町記念日の十月一日、町民会館で盛大に行われました。

式典には公区长、町内各団体代表者、来賓など約四百人が出席し、先人らの開拓、町づくりの労苦をたたえるとともに十年後の開基百年に向けての一層の飛躍を誓い合いました。

また、町の発展に功績のあった功労者や長寿者など五十六人の表彰も行われました。

式典は町民会館地下大集会室で午前九時半から「まくべつ混声合唱団」の町歌演奏で開幕しました。次いでスライドとナレーションで幕別町の九十年間の歴史が紹介された後、町立わかば幼稚園児による記念みこしが元気いっばいに入場し会場内を沸かせました。

引き続き式に入り、小田善一町議会副議長の開式のことば、君が代斉唱、先人への黙とうと進み、青年代表の笹島喜郎さんと山田加代子さんの二人が明るく豊かな町づくりの願いをこめて町民憲章を朗唱しました。

式辞に立った林町



約400人が出席し盛大に行われた記念式典(町民会館)

長が「町民の団結力を示すつながったデーが行われた意義深きこの開基九十年を契機に、決意を新たに明るいマチづくりを全町一丸と

なつて進めましょう」と述べ、続いて功労者や長寿者らの表彰に移りました。町条例に基づく功労者表彰三人、教育委員会表彰一人、開基九十年表彰二十六人に表彰状が贈られました。また、九十歳以上で戦前から町内に在住している長

寿者二十六人へ記念品、多額の寄付をされた五個人、七団体へ感謝状が贈られました。

十勝支庁長、十勝町村会代表、代議士らの祝辞に続き、八月三十一日に実施されたつながったデーの記録映画が十五分間にわたって上映されました。最後に町花などの発表が行われ、菅原助役の閉会のことばで式典が終了しました。午後からはトレーニングセンターで祝賀会が行われました。

### 町功労者等表彰



自治功労  
故岸上利雄さん  
(古舞・享年70歳)



社会功労  
鈴木一郎さん  
(札内泉町・77歳)

昭和五十年五月から幕別町議会議員を努められ、五十四年から二年間厚生常任委員長を歴任するなど、本町の自治振興に多大な貢献をされました。

民生児童委員を九年間、現在は社会福祉協議会理事、遺族会副会長などの要職にあり、地域住民の福祉に対する意識の向上に努められました。



社会功労  
山田定雄さん  
(五位・68歳)

昭和四十一年から現在に至る二十年の永きにわたり民生委員として、常に社会福祉の第一線に立ち、本町社会福祉の伸展に多大の貢献をされました。

### 教育委員会表彰



スポーツ賞  
小師国光さん  
(錦町・27歳)

昭和六十一年第三十七回全道青年大会相撲の部個人戦無差別で優勝。昭和五十八年第三十八回国民体育大会北海道予選大会において準優勝。

# 開基九十年記念表彰

## ■自治振興

沢井重一（本町）、小尾丁二（錦町）、藤原キサ（旭町）、二川豊（緑町）、故島田忠吉（駒島）、故久保実（中央町）、

## ■教育振興

佐藤一馬（春日町）、黒川喜雄（相川）

## ■産業振興

伏見基（新和）、佐々木正巳（春日町）、大西三四郎（新和）、寺岡勉（軍岡）

## ■福祉増進

故吉田信雄（明倫）、助川秋好（新和）、古田一二三（中央町）、高橋彦衛（駒島）、塚本清（相川）

## ■納税推進

沢崎駒治郎（春日町）



26人の方が受けた開基90年記念表彰

## ■地域活動

前田朋吉（旭町）、長谷川弘（春日町）

## ■婦人活動

大道こと（相川）、山端フジエ（相川）、前田キミ（豊町）、長谷川芳子（暁町）

## ■交通安全

千葉良治（泉町）、伊藤一男（青葉町）

## 長寿を寿ぐ方がた

長屋志やう（宝町・97）、二川ヤイ（幸町・94）、磯部なみ（千住・94）、只野正美（春日町・93）、寺山みよ（棟内・93）、晒谷ちよ（豊町・92）、国枝孝吉（青葉町・92）、高橋サギ（緑町・92）、園部ケイ（緑町・92）、山田アヤ（豊町・92）、久保英太郎（古舞・91）、高垣累（駒島）



林町長から長寿者ひとりひとりに記念品が渡されました

## 多額寄付者への感謝状

上原忠雄（相川）、中島正雄（芽室町）、熊田昭男（途別）、藤原キサ（旭町）、勝山繁（本町）、幕別ライオンズクラブ、幕別ロータリークラブ、杉森水産有限会社、三共舗道株式会社、道路建設株式会社、日本舗道株式会社、北洋道路株式会社



会場を沸かせたわかば幼稚園児による記念みこし



見事なハーモニーを披露した混声合唱団



青年二人による町民憲章の朗唱



式辞を述べる林町長



祝賀会で演じられた棟内獅子舞



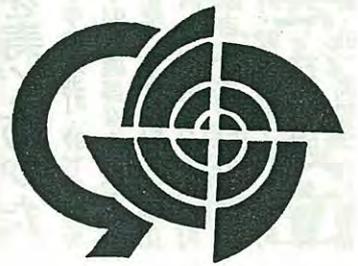
友好町の宮崎県東郷町からお祝いにかけてつけた東村収入役



トレーニングセンターで行われた祝賀会

# 067人の手と心

## 開基90年記念事業



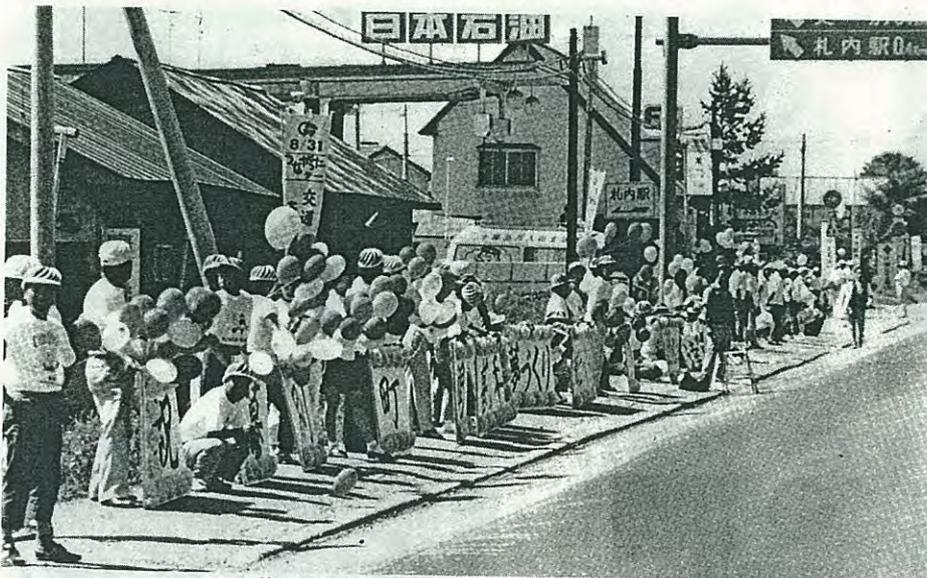
### 交通安全キャンペーン

### つ な が つ た デ ー

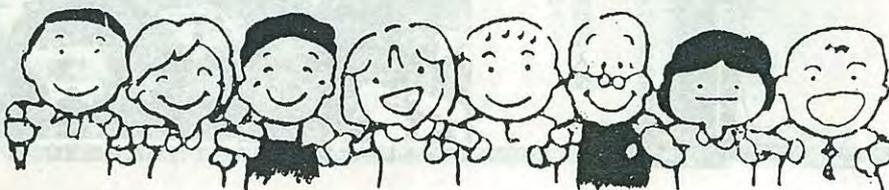
幕別町開基九十年記念事業のメイン行事である交通安全キャンペーン「つながったデー」が八月三十一日に行われました。当日は絶好の秋晴れに恵まれ、幕別、札内間の国道三十八号線の歩道に、実行委員会(木川拓二会長)の目標の六千人を大きく上回る八千六十七人が並んで手をつないで幕別市街と札内市街を結び、ドライバーに安全運転を呼びかけました。午前十時半にスタートした受け付けには、一般参加者について職場、学校など団体で参加する人たちが、実行委員会の指定した集合場所に次々と集結してきました。受け付けて記念品を受けとった参加者は歩道に整列を開始し、十一時五十分に全員の整列が完了しました。次いで、正午ちょうどに打ち上げられた花火を合図に児童・生徒の交通安全メッセージを付けた風船三千個が上空に舞い上がり、約九\*の歩道上に並んだ参加者が一斉に手をつなぎました。

幕別全町民の三分の一以上の方が参加し大成功に終わったこのイベント。十年後の開基百年に向けて、全町民が一体となったまちづくりへの大きなステップとなりそうです。

また、終了後の午後二時から道警音楽隊の演奏会が行われ、見事なドリル演奏を披露し詰めかけた千五百人の聴衆を魅了しました。



終点であり、起点ともなった札内駅入口付近



# つながった!! 8.



それぞれの立つ場所へ向かう白人小と札内東中の児童・生徒



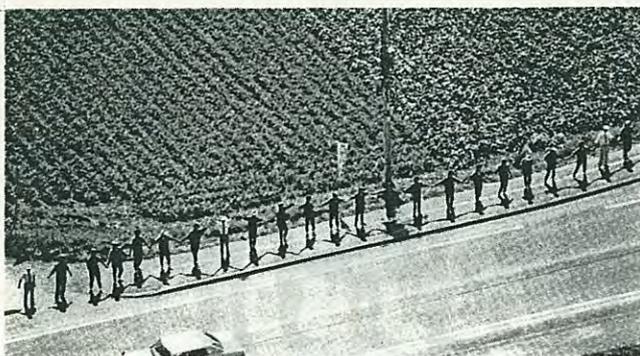
午前10時半から開始した受け (興農産業)



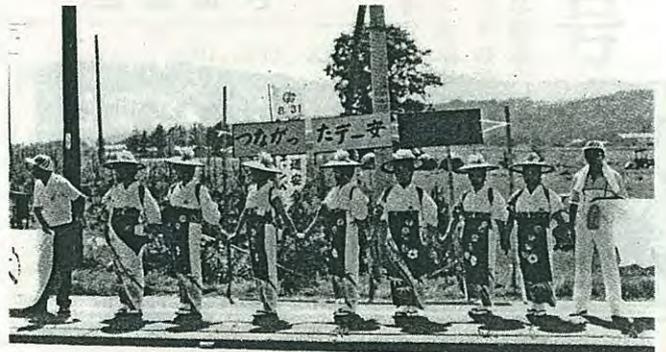
人文字ならぬ一文字で交通安全をアピール



「手づくり絵づくり夢づくり」のテーマを掲げた団体



空からの撮影。影がクサリのように



着物で参加した踊りのサークル

代のいい思い出になりました。中学校時



飛田真紀子さん  
(糠内・14歳)

息子に誘われて家内と一緒に参加しました。青空の下で気持ち良かったですね。



上野石造さん  
(泉町・66歳)

の原点は手づくりですものね。なイベントでした。町づくり



林 郁男さん  
(錦町・38歳)

つないでうれしかったです。学校全部で参加しました。暑



国武美香さん  
(春日町・7歳)

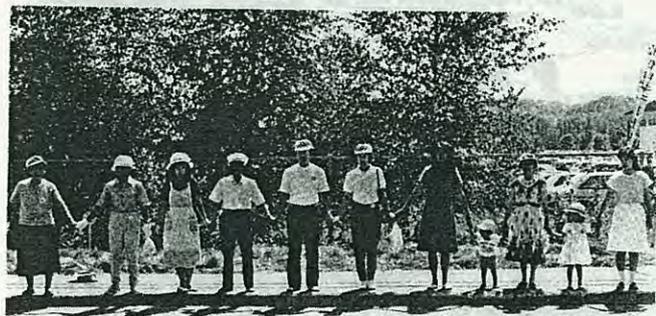
私も参加しました



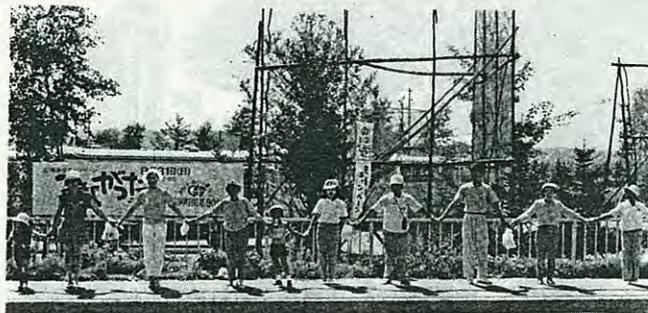
千代田木材付近



止若橋付近



ペブシコーラ付近



家畜市場前



白人公園前



相川小学校付近



青葉町付近



千住橋の西側

家内共々近所の人たちと一緒に参加しました。幕別に住んで五十年。いい記念になりました。



桜田喜三次さん  
(旭町・80歳)

家畜市場の西側に並びました。暑かった！。安全運転を一層心がけたいと思いました。



中山真由美さん  
(千住・19歳)

明倫地域で六十人ほど参加しました。八千人も参加したんですか。快挙ですね。



平野 明さん  
(明倫・43歳)

五歳の子と手をつなぎました。全体が見えなかったので映画を見るのが楽しみです。



逢坂桂子さん  
(相川・35歳)

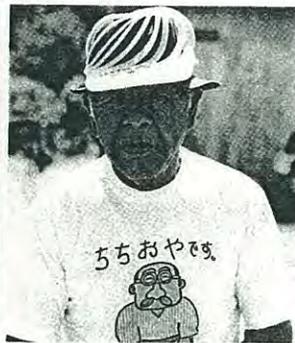
私も参加しました

# ドキュメント 8・31

7時00分…実行委員会役員が役場に集合。天候を確認して決行を決定。  
 7時30分…同報無線で決行を放送。  
 7時45分…決行を知らせる町内巡回広報車(2台) 出発。  
 8時00分…決行の花火を町内3カ所で打ち上げ。  
 9時30分…警備、駐車場、受け付け各役員が現地に集合。  
 10時30分…参加者受け付け開始。  
 10時40分…児童・生徒のバス輸送スタート。  
 11時00分…参加者がそれぞれの立つ場所へ移動開始。  
 11時50分…整列完了の花火打上げ。16<sup>時</sup>、映画撮影隊スタート。カメラマン撮影スタート。  
 12時00分…花火打上げを合図に一斉に手をつなぐ。風船を空に飛ばす。  
 12時10分…16<sup>時</sup>、映画撮影完了。解散開始。  
 12時50分…各駐車から全ての車の出車完了。  
 14時00分…道警音楽隊演奏会が運動公園で開演。



この帽子似合うかしら



ユニークなTシャツのお父さん



本人はピースをしたつもり



カメラに向かってハイポーズ



リュックの中身は何か



企業PRに一役

テルに一泊無料招待されることになりました。無料招待券の有効期



産業まつりで行われた抽選会

つなごうがたデーに参加された皆さんに渡した記念バッチの番号による、幕別温泉ホテル一泊招待の抽選会が十月五日の産業まつりで行われました。抽選は林照男町長、木川拓二開基九十年記念事業実行委員会長、大久保正司産業まつり実行委員長の三人によって行われ九十人の方が国民宿舎幕別温泉ホ

幕別温泉  
無料招待

当選番号が決定

## 8・31 参加者の内訳

区分	人数	備考
一般	3,468	公区等を通しての参加者
団体	1,378	34事業所、6サークル
児童・生徒	3,251	小学校12校、中学校4校
合計	8,067	役員を含む

## 当選番号

下3ケタ (1人招待)	091、130、338、 861、754、945、 772、726、078、 336
4ケタ (二人招待)	3252
4ケタ (三人招待)	6189

限は昭和六十二年三月三十一日までです。当選された方はお早めに役場企画調整課まで、バッチ持参の上おいでください。

## 8・31 役員の内訳

区分	人数	備考
警備	341	歩道に20m おきに配置
駐車場	49	駐車場誘導員
受け付け	65	参加者への記念品の配布
カメラマン	15	600m おきに配置
その他	91	総務・救護など
合計	561	

家族五人で参加したんですが、そのうちの一人が当たりました。どうしようかしら。



敦賀礼子<sup>さん</sup>  
(あかしや町・34歳)

クジ運がいい方ではないので期待していませんでした。発表を見てビックリしました。



金田一武雄<sup>さん</sup>  
(新町・39歳)



終了後、帰路につく人たち。暑い中ご苦労様でした



札内の皆さんにはかなりの距離を歩いていただきました。



手紙を手に大喜びの香織ちゃん

花火と同時に空に舞った三三三の風船に付けたメッセージの返信が三通届いています。中で

## 風船がなんと弟子屈まで

も桑原香織ちゃん(幕小三年生)には弟子屈に住む人から、手紙には「これからも安全運転を心掛けます」と書かれており、香織ちゃんの気持ちが届いたようです。  
「お父さんと地図を見ました。弟子屈が遠いのでビックリ。さっそくお礼のお手紙を出しました。お友達のも届くといいのにね」と喜びでいっぱいです。



次々と陣形を変えたドリル演奏

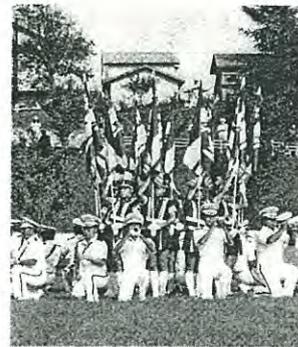


カラーガード隊の皆さん。もちろん全員婦人警察官です

# 華麗、勇壮、ドリル演奏

## NHK 公開録音に1,500人

開基九十年記念事業の一つであるNHK「ひるの散歩道」の公開録音が九月十日、札内東中学校体育館で行われました。  
午後六時の開場に対して、午後二時四十分には早くも一番乗りが来て、あいにくの雨模様にもかかわらず千五百人の聴衆が詰めかけました。  
この日は三十分ものの放送を二本収録しました。一本目は金田たつえと松原のぶえが出演し、ジャズメッセンジャーの演奏をバックにそれぞれの持ち歌を熱唱しました。二本目は村田英雄が出演し、「人生劇場」や「無法松の一生」などおなじみの曲をじっくりと聴かせました。



動きながらも見事な演奏を披露



超満員となった札内東中学校体育館



出演した村田英雄

全国放送は九月十七、十八日の両日に行われました。



約1,500人の聴衆が詰めかけました

# 町の花・木・鳥が決定

幕別町の自然のシンボルとなる町の花、鳥、木が決定しました。

選考委員会で選んだ各十五づつの候補に対して、町民の皆さんから五百七十四通の公募がありました。選考にあたっては、公募が多かった上位五候補に絞り、町のイメージにマッチし、今後町づくりに展開できる要素を含んだものなどの選考基準を踏まえ決定しました。その結果、花はスズランとシバ

花はスズランと

シバザクラ

木はカシワ

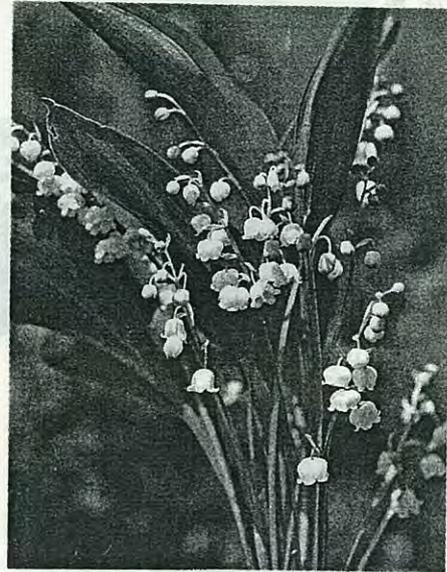
鳥はオオハクチヨウ

ザクラ、木はカシワ、鳥はオオハクチヨウと決定しました。

また、選考委員会で厳正に抽選を行った結果、公募者の中から次の九人の方に開基九十年記念テレホンカードをお贈りします。(敬称略)有沢隆則(錦町)、佐久間政弘(旭町)、古酒とも子(新町)、水野たま(緑町)、安田亜里(緑町)、勝山繁(本町)、中川美保子(札内中央町)、林敬子(札内泉町)、中村義信(緑町)

## 町花 スズラン

ユリ科で五〜六月ごろに咲き、白い鐘状の小花の花憐さと芳香で愛されている。町内にも多くの群生地がある。



## 町花 シバザクラ

ハナシノブ科。茎が地面をはって広がり、サクラのような小花が一面に咲く。明野ヶ丘公園に五十八年から植栽を続けている。



## 町木 カシワ

ブナ科。適潤肥よく地に群生する。樹皮が厚く火山事に強い。果実はどんぐり。新和地区には樹齢二百年近くのものがある。



## 町の鳥 オオハクチヨウ

ガンカモ科。冬鳥として湖沼などに渡来する。全身が白く、一番大きな水鳥。町内では旧途別川、途別川で越冬する。



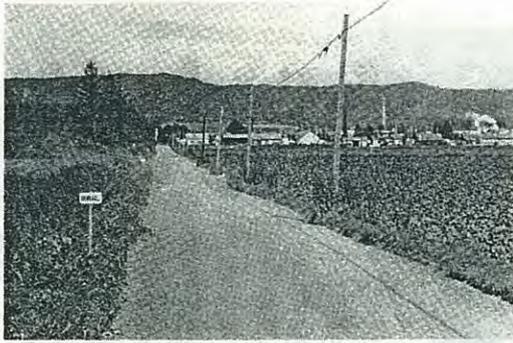
私の声を町長に送る旬間

# 大切な意見を町づくりに反映

町民の皆さんが、町政について日ごろ思っていること、将来への希望や意見などをお聴かせいただき、町づくりに反映させるため、「私の声を町長に送る旬間」(八月五日～十四日)を設定しましたが、七十五通・百十六件の貴重な意見が寄せられました。その主な意見と回答を紹介します。

●明野スキー場から国道へ抜ける道路の未舗装部分を早急に舗装してください。

答―ご要望の明野二十五号線道路の舗装につきましては、最近特に交通量が多くなっている事から、一日も早く舗装化するように今年から舗装の基礎となる路盤改良工事に着手します。舗装については路盤工事の完成に合わせ順次施工予定



路盤改良工事が始まる明野25号線

であり、予算の関係もありますが、早期完成に向けて努力します。

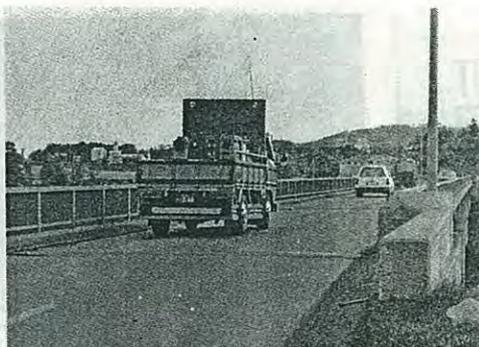
●歩道の破損力所が目立ちます。子どもやお年寄りには非常に危険なので補修を。

答―道路、歩道の補修については、毎年春先に調査し計画的に補修しています。しかし突然に道路に穴ができた時などは、町で発見するより先に住民から苦情がきて補修に行くというケースが大半です。このことでは住民の皆さんに大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご連絡をいただければ早急に調査に伺い補修をいたしますので、よろしくお願いいたします。

●町道幕札線が完全舗装になり交通量が多くなりました。猿別橋を通る歩行者、自転車がとても危険な状態です。猿別橋に歩道を設置できないのでしょうか。

答―猿別橋の歩道設置については、帯広土木現業所に再三にわたり実状を訴え陳情しています。土木現

業所でも現状を十分に理解していますが、現在、根室本線の立体交差について検討中で、猿別橋の位



交通量が多くなった猿別橋

置関係もあり、歩道設置については施工年次を示すに至っておりません。しかし、立体交差の施工はかなり後年次になるものと考えられるので、目前の危険を防止する意味からも早急に着工するよう更に要請していきます。

●札内地区の体育館建設の計画は

あるのでしょうか。

答―札内地区の体育館建設については、幕別町新総合振興計画の中で昭和六十三年に建設を計画しています。それまでの間、夜間の学

校開放事業で地域の皆さんのニーズに対応していきたいと考えています。

●図書館の建設を早期に実現させてください。

答―生涯教育を進める観点からも図書館の必要性は十分に理解できますが、財政事情の厳しい折、早期に実現させることは非常に困難な状況です。既存施設を整理し、図書館としての機能を十分に持ち合わせた活動を展開するよう努力してまいりますのでご理解願います。

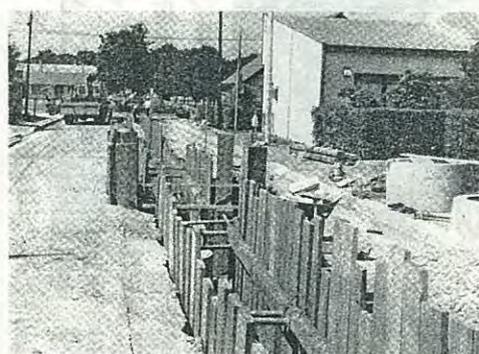


町民会館の図書室

●札内地区の下水道の早期実施を。

答―札内地区の下水道は一市三町(帯広、幕別、音更、芽室)による十勝川流域下水道事業で施工します。事業内容は処理場(十勝川浄化

センター)から札内橋までの幹線工事を道が施工し、札内地区の工事(ポンプ場、汚水幹線及び枝線等)を幕別町が施工するものです。道



順調に進む下水道工事

が施工する札内橋までの幹線工事が昭和六十五年度中に完成予定です。町では第一期工事としてポンプ場の建設、中央町、青葉町、あかしや町、泉町、若草町、桂町、文京町、春日町の整備をする予定で、今年度中に春日町の整備をほぼ完了し順次他地区の整備を進めてまいります。なお、供用の開始は道の幹線工事が完了いただいたらちに開始いたします。

●広大な土地を有するこの幕別に有料養老院の建設を。

答―ご要望の件は軽費老人ホームのことだと思えますが、幕別にはご承知のように民間施設として特別養護老人ホーム札内寮があります。十勝管内の軽費老人ホームの実態は、音更町に十勝川温泉あさ

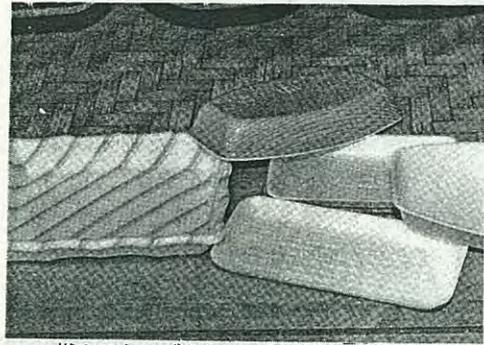
い苑(収容定員五十人)があり、入所実態は管内四十人、管外十人と  
いうことで管内のみれば定員の  
範囲内であることや、入所待機者  
が極めて少ないという状況にあり  
ます。こうした中でさらに施設を  
認可して、管内で百人定員を確保  
することは当面困難であるとの判  
断や、財源措置、在宅福祉型への  
移行(自宅や地域で福祉サービスが  
受けられる方向)など色々な問題  
が考えられます。いずれにしても、  
人口の高齢化や核家族化が急速に  
進んでいますので、町としてもこ  
れらの動向に関心を持って見守っ  
ていきたいと思えます。

●最近パック包装の食品が多く、  
パック類を分けて燃やせないゴミ  
の日に出していますが、月に二回  
しか収集がありません。夏は特に  
不衛生ですので、収集回数を週二  
回程度にできないでしょうか。

答―町では各家族から出されるゴ  
ミを年間六千五百万円の経費をか  
けて処理しています。今後更にゴ  
ミの量が増えると思われまますので、  
各家庭で処理できるものは処理し  
ていただくようゴミ焼却炉などを  
町衛生会の協力を得てあつせんす  
るなど、ゴミの減量化をお願いし  
ています。

仮にご要望のように燃えるゴミ  
並みに週二回収集しますと、現在  
の収集車(パッカー車)では処理で  
きませんので、二台増車しなけれ  
ばなりません。この増車によって

年間二千四百万円程度の経費が必  
要となりますため、実現は極めて  
困難であるというのが現状です。パ



燃やせないゴミとして処理するパック類

ック類は不衛生にならないように、  
ゴミ袋などで保管するなど、ご協  
力をお願いします。

●公区は自主的に運営されていま  
すが、公区の運営を示した手引書  
があればいいと思うのですが。

答―現在の公区制度は町行政区設  
置条例により設けられ、行政上の  
機関としての性格を持つものです。  
しかし一方では地区の町内会いわ  
ゆる自治組織としてそれぞれ規約  
を定め運営するという二面性を持  
っています。ご提言はこの町内会  
活動を指しているものと思いま  
すが、これはあくまでも自主的な住  
民活動を行うものであり、規約に  
基づいて事業や予算が決められ運  
営されるものと考えます。

したがって行政が画的に手引  
書を作成し運用するものではなく、

それぞれの地域性を持った独自の  
発想のもとに地域の活動を行うこ  
とが望ましいのではないかと考え  
ます。なお、年二回町主催で行う  
公区長会議においてそれぞれの公  
区での実践活動の発表をし、相互  
に意見交換をもつ場も多く取り入  
れ、より良い公区運営が図られる  
よう側面的に配慮していきたいと  
考えます。

●平和宣言をした町にふさわしい  
具体的な行動を。

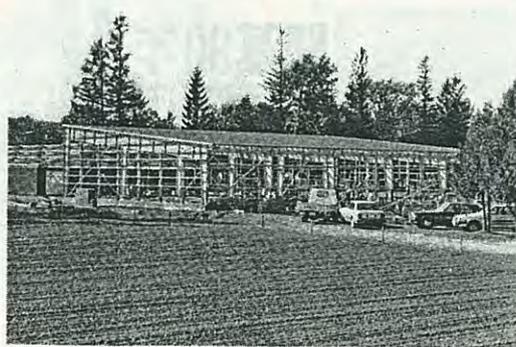
答―昨年十二月の定例町議会にお  
いて「平和非核宣言」が決議され、町  
としてもこの議会の意志を尊重し、  
その意義を高めらしめるため現在幕  
別、札内、糠内の三地区に「平和非  
核宣言塔」を建立する準備を進め  
ています。このほか広報紙などを  
活用して、住民一人ひとりに宣言  
の趣旨を徹底していきたいと考え  
ていますが、このことは住民が主  
体となった全町民的な統一性をも  
つた平和への運動につながってい  
つてこそ、その実効があるもの  
と考えています。

●「老人いこいの家」の建設を。

答―現在、町内には幕別温泉高台  
に老人福祉センターが設置されて  
います。年間の利用者数も老人福  
祉バスの定期運行ともあいまつて  
二万人を超え、健康的な施設とし  
て大変好評を得ています。このほ  
か近隣センター、公民館、幕別温  
泉ホテルなどが広く活用されてい  
ますので、当面はこれらの施設を

ご利用になっていただきたくと思  
います。

幕別町新総合振興計画の中でも、  
老人の専用施設として健康増進施  
設(現在札内地区に建設中の室内ゲ  
ートボール場、来年度には幕別地



白人公園に建設中の室内ゲートボール場

区に建設予定)や老人憩いの家の  
整備の必要性が盛り込まれていま  
す。地域的にも施設の配置バラ  
ンスを考慮しながらできるだけ早い  
時期に実現したいと考えています。

●市街地の未舗装道路の整備を。

答―町内市街地の道路は七万四千  
四百メートルあります。このうち舗装さ  
れているのは、簡易舗装を含み五  
万二千メートルで、まだ二万二千四百メ  
ートルの道路が舗装されていません。  
町内各公区より道路整備につい  
ては早期舗装化と数多くの要望が  
ありますが、現在の予算では年  
間の市街地の舗装は千五百メートル程度  
しかできません。地域のバランス、

道路の重要度などを考慮し、順次  
舗装化を進めていくよう努力して  
いきたいと思えます。

●将来幕別町が国道三十八号線に  
面した工業都市に発展するような  
計画が必要では。

答―国道三十八号線に面した所に  
工業都市をとのことですが、この  
地は早くから本町の農業の中心地  
で農用地としては非常に肥沃なと  
ころから農業振興地域として位置  
付けをしています。さらに今後、長  
期間にわたりこの地域の農用地と  
しての整備も計画されています。ま  
た工業を中心とした地域を設ける  
ことは、河川の環境保全など多く  
の場合合法の規制を受けます。現在  
のところ、造成中(一部分譲済み)



造成中の札内東工業団地

の札内東工業団地の活用を図る考  
えて、特別に国道三十八号線での  
工業都市化の計画はありません。

# パークゴルフ協会が設立 指導者養成講習会も開催

幕別町で生まれたニュースポーツ「パークゴルフ」の普及、発展を旨とした幕別町パークゴルフ協会が設立されました。

これまでは、幕別、札内の両同好会がそれぞれ独自の活動をしていましたが、今年の春から協会設立を求める声が上がリ準備が進められ、九月八日に設立総会が開かれました。総会では協会規約を決めた後、役員を選出し、初代会長には福田省市さん(寿町)が就任しました。

協会では会費納入による会員登録



おおさわ ゆきこ  
大沢由貴子さん(27歳)  
▼株太平洋ミサワ建材▲  
宝くじを当てて  
家を建てるのが夢

ここに勤めて4年目になります。女性は私だけです  
が、とても雰囲気の良い職場です。

つながったデーには私も参加しました。お祭り気  
分で楽しかったですね。これといった趣味はないん  
ですが、美容と健康のために水泳をやりたいです。

夢は宝くじを当てて、家を建てることです。実現  
しそうにありませんが当たるまで買い続けます。

## こんにちは ⑬

うと他町村の教育委員会職員や関

パークゴルフを町外にも広めよ

### 講習会には管内 から四十人が参加

録制をとらず、各種大会への参加  
者を自動的に会員とし、協会運営  
費は大会への参加料、寄付金など  
を充てることにしています。また  
企画部(部長 前原 諭 さん)、普及指  
導部(部長 平塚 治郎 さん)を設け  
各種事業運営を進めることになっ  
ており、パークゴルフの一層の普  
及が期待されます。

心のある人を対象にした十勝管内  
パークゴルフ指導者養成講習会が  
十七日、町民会館と運動公園つづ  
じコースで行われました。地元幕  
別の愛好家をはじめ、管内十一町  
村から四十人が参加しました。



ホールインワンも出た実技指導

午前中は町民会館でコースの設  
定や用具、ルールなどの研修が行  
われました。午後からはコースに  
出て実技指導が行われました。指  
導には本町の愛好者が当たり、四  
人一組に分かれて各ホールを回り  
ました。初めてステイックを持つ

別の愛好家をはじめ、管内十一町  
村から四十人が参加しました。



午前中はルールなどを勉強

## ふるさとへの便り... ⑦

いしはら えいき  
石原衛紀さん(44歳)  
(東京都国分寺市)



ふるさと

バンザイ

東京幕別会発足以来毎  
年楽しみに出席。町の近  
況や懐かしい人にお会いで  
きて郷里が近くなった感

じがします。同日は白人中学  
校卒業生の白人会も二次会で  
開催し、年一回の再会が定例  
化されて非常に楽しみに一日  
です。

この郷里幕別町が今年開基  
九十年を迎え、心から感謝と  
お祝いを申し上げます。私の  
青春時代の思い出一母校甲子  
園初出場、陸上の全道記録樹  
立、開道百年記念論文特選入  
選等数々の思い出を造れたこ  
の郷里に誇りを持っています。

町民の皆様は今後益々のご  
健康とご発展を心からお祈り  
申し上げます。

## 開基90年



昭和13年の幕別市街。旧役場庁舎から見  
た所で、当時は止若と呼ばれていました。



現在の幕別市街。街なみの移り変わりが  
半世紀の歴史を物語っています。

まくべつタイムトンネル ⑦  
あつ場所  
この場所  
まくべつタイムトンネル  
の七回目は、幕別市街の変  
遷を紹介します。



あかしや南第2公区(猪股浩一公区長)が公区創立10周年を記念して、9月7日、あかしやなかよし公園で「まつり」を開催しました。会場には公区の人たちによる売店が立ち並び、家族そろって手づくりのまつりを楽しみました。

## 公区創立十周年を まつりで祝う

長崎喜之助さん(駒畠・六十八歳)が廃物の  
ホイル付きタイヤを再生利用して造った鉢に  
花、植木を添えて町に寄贈しました。この鉢、  
好きなゲートボールの合間に造ったもので、  
役場を訪れる人たちの目を楽しませてく  
れています。



## ユニークな鉢を町に寄贈



## 地域の環境美化に一役



札内駅南昇降口には毎朝百台近くの  
自転車並びます。それらの自転車を順  
序よく並べたり、道路の清掃などをして、地  
域の環境美化に一役買っているのが若草町公  
区土木部長の川島末治さんです。地域のな  
かのお役にたてば」と謙虚に語っていました。

第5回幕別町鞍馬(ばんば)競技大会が  
9月21日、依田の特設会場で行われました。  
人馬一体となって数百kgの重量を引っ張るメ  
インレースのほか、ポニーによるレースや人間ば  
んばも行われ、観客の盛んな声援を受けていました。

## 人馬一体の妙技を披露



親の行動で  
示すしつけ

いま、「しつけの喪失時代」と  
いわれるほど、子どもはしつけ  
らしいしつけを受けていないと  
いわれています。一方、親にし  
てみても、真剣にしつけに取り  
組んでいないようなふしもある  
ようです。しつけのむづかしさ  
に歎いている人が多いようです。  
しつけとは「おしつけ」でなく  
「しつづける」という意味があり  
ます。この、しつづけるという  
のは継続のことです。それはま  
た、「習慣」のことです。だから  
しつけとは、行動の習慣化の問  
題なのです。  
そこで、しつけというのは、次  
のようなことを考える必要があ  
るようです。

- 何回もくり返して行う。
- 例外はなるべくつくらない。
- 激励したり、褒めたりする。
- 喜んで自分でするようにす  
る。
- 年齢に合わせて行う。
- 甘やかさず、まじめに行う。
- 家族が一致協力して行う。

また、こうしたことは親の心  
構えを重視しています。しつけ  
においては、まず親がして見せ  
ることが大切です。しつけは言  
葉でするものでなく、行動で示  
すものなのです。そして、子ど  
もが自分でやっつけていこうとする  
意欲をもたせることが大切です。  
そのためには、そのことを子ど  
もにわからせることです。良い  
ことだから、ただやれと言っ  
ても、子どもはやるうとしません。  
親子の対話をとおして、自分  
でやっつけていこうとする気持ち  
を持たせることが、良い習慣づけ  
の最大条件といえます。  
子どもが「しなければなら  
ない」という意識から、「するの  
があたりまえ」となり、「しなけれ  
ば、じつとしておれない」よう  
になる時、しつけの成功といえ  
るでしょう。



町民みんなの関心事  
良い子を育てるために⑦  
町児童生徒健全育成推進委員会

# 思いはふるさと幕別に

## 第二回札幌幕別会総会

札幌近郊在住の幕別町出身者でつくる、札幌幕別会(倉持照三郎会長)の総会と懇親パーティーが、九月二十二日、札幌市内のローヤルホテルで開かれ、なごやかに交流を深めました。

この会は今年で二回目になり、札幌近郊に約二百人いる会員のうち五十人余りが出席しました。地元からは、林照男町長、山崎

### 19 マナーを大切に

# ひと

会長の就任した  
ゴルフ協会の  
初代会長に  
ふくだ しょういち  
**福田 省市**さん  
(寿町・61歳)

幕別町で生まれたニュースポーツ「パークゴルフ」がブームを呼んでいます。九月八日には町パークゴルフ協会の設立総会が開かれ、初代会長に福田省市さんが就任しました。



「これまでは幕別と札内に同好会があり、それぞれ独自の活動を展開してきました。協会設立に至ったのは「つながったデー」のように、両地区の愛好家がお互いの手を求め合い、全町一丸となって普及に努めようという機運が盛り上がったからです。これからは男女別

「町内の愛好家は五百人程度と推定しています。パークゴルフの魅力は競技方法が簡単なことと、年齢、経験、性別を問わず楽しめることです。それに多くの人と知り合いになれるという点で、まさにコミュニケーションスポーツです。競技スポーツ化へ指向するのはなく、あくまでも楽しいスポーツとして普及させたいですね。そのためにも、これから始めようとしている人たちの良い手本となるようマナーを重視したいですね」

大正十四年、浦幌町生まれ。前教育長。奥さんと母親の三人暮らし。



なごやかに交流を深めた懇親パーティー

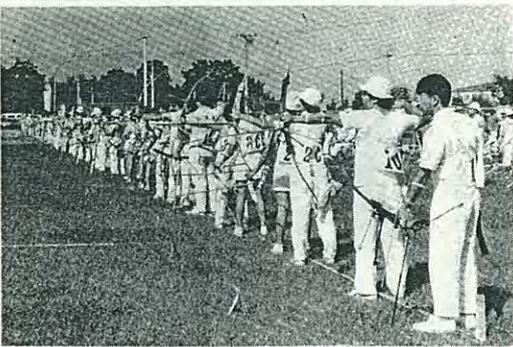
長一議長、木川拓二商工会長らが出席しました。総会であいさつに立った林町長は、「開基九十年の今年はさまざまな記念事業を行っています。中でも、八月三十一日に行った交通安全キャンペーンが、行った交際には、幕別から札内まで九千間に八千人もの町民が手をつないで並び、大成功をおさめました」と開基九十年一色の幕別の近況を報告しました。

引き続き懇親パーティーに移り、や年齢別など多彩な大会を企画したいと思っています

## ロビンフッドが勢ぞろい

### 大会アーチェリー全道に盛大に

幕別アーチェリー協会(勝山衛会長)主催の第七回北海道アーチェリーフェスティバル・イン・まくべつが九月七日、国体の北海道予選を兼ねて幕別温泉前広場で行われました。大会には六歳から七十九歳まで百五十四人の選手が出席し、今年道内で行われた競技会では最も大規模な大会となりました。競技は年齢別で行われ、国体



全道から154人が参加して行われたアーチェリー大会

なつかしいふるさとでの思い出話を交わす人の輪がいくつもできていました。また、来年度には、産業まつりに合わせての訪問ツアーの話ができるなど、ふるさと幕別に思いをはせていました。

予選の少年男子の部では幕別高校の鎌田芳彰さんが優勝しました。  
**芝桜植栽に百人が参加**  
明野ヶ丘公園に五千五百株

今年で四回目を迎えた明野ヶ丘公園への芝桜の植栽が九月二十七日に行われました。

この日は約百人の町民が参加し、寄付金で購入したり、参加者が庭先から直接持ち寄ったりして用意した芝桜約五千五百株を丁寧に植えました。この芝桜、来年の春には赤、白、ピンクの花を咲かせ、五月末には「芝桜まつり」が盛大に開かれる予定です。

「寄付ありがとうございます」

町へ：  
▽岸上テツさん(古舞)から三万円

社会福祉協議会へ：  
▽竹内利春さん(明野)から十万円  
▽長尾潔さん(宝町)から車いす二台  
▽創友会(品田竹夫代表)から四万三千三百五十四円  
▽泉町婦人部から七千円

老人クラブへ：  
▽竹内利春さん(明野)から明野新川長寿会へ五万円  
▽漆原くにあさん(相川)から相川北一心会へ二万円(八月二十日、九月二十日分)

※訂正—先月号で「上原忠夫さんから町へ三百万円の寄付」とあったのは、「上原忠雄さん」の誤りでした。訂正しておわびします。